

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」新鈴鹿校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別療育によって一人当たりのスペースを確保している。	時間よって窮屈に感じることもある為、なるべく有効に使えるよう工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令に則った配置をしております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所内は建物構造上必要最低限の段差になっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々消毒と清掃をして清潔にしています。また、なるべく物を置かないよう遊べる空間を確保しています。	定期的な換気も行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		気付いたことや改善点があれば都度話し合いの場を設けていきます。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へも評価表を記入していただきご意見を元に改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		WAMNET と弊社ホームページ、事業所入口に掲示しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による評価は必要であると感じているので必要に応じてお願いしていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修や各地域における研修に参加しています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシートや聞き取り、他機関との連携を踏まえて計画を立てています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NC プログラムを使用し状況把握に努めている。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用者様に合わせた個別の支援計画を設定しています。	ガイドラインだけでなく保護者様からの聞き取り内容も計画に入れています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画と利用者様の発達段階に合わせて支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員で話し合いながら必要な活動を検討しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		必要に応じて変化を取り入れつつ、発達段階に合わせて活動を継続もしています。	季節の行事や小集団での活動を取り入れ、個別だけでない経験を積めるようにします。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		利用者様の様子を見ながら小集団での活動を取り入れています。	引き続き小集団での活動を行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の際1日の流れを確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になる点や、気付いた点があれば都度共有するようにしています。	共有のみでなく、次の支援に繋げられるよう話し合う時間も作っていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は欠かさず記入しています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最長6ヶ月を目処にモニタリング・会議・計画の見直しを行っています。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関や他事業所様と連携を図り支援の方向性を合わせています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしていない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしていない。

	⑫	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		要望に応じて保育所等の見学や会議に参加し情報共有をしています。	
	⑬	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		要望に応じて小学校の見学や会議に参加し情報共有をしています。	
	⑭	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	⑮	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在も、感染症の流行により自粛しているが機会があれば交流を検討します。
	⑯	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	⑰	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後フィードバックを通じて話し合いの場を設けています。	
	⑱	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングではないが、療育の様子をお伝えする際に、簡単にアドバイスや療育以外でできる遊びや支援方法をお伝えさせていただいています。
保護者への説明責任等	⑲	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際書類と照らし合わせながら説明を行っています。	変更があればその都度再度説明をしています。
	⑳	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	㉑	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の送迎の際や支援終了後少しずつ話す時間を設け、保護者様のお悩み等を聴くようにしています。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	㉓	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがあれば迅速に対応しています。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			

非常時等の対応	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類は鍵付きのロッカーで保管し、パソコンも安易に持ち出さない、外部のWi-Fiに繋がらない等徹底しております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		イベントを行う際には、SNS等を使用し、広く招待する方法を実施している。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年間防災計画に基づいて毎月避難訓練を実施しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートにて服薬やアレルギー、持病について確認をしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食事の提供はございません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		気付いた都度ヒヤリハットを作成・共有するようにしています。		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		三重県主催の研修に参加し虐待防止に努めています。		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校      保護者等数（児童数）：14名 回収数：13名 割合：92.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	0	0	物理的に難しい	限りあるスペースではございますが、可能な限り有効活用していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2	0	1	iPad はあまり見せないで欲しい	個別支援計画や日々の療育を通してお伝えさせていただいております。 電子機器は必要に応じて使用することがあります。その際は細かな時間設定や意図目的を持って使用いたしますのでご理解いただきますようお願いいたします。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	8		感染症の影響もあり交流の機会はないが、機会があれば是非交流していきます。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	0	0	0		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン ト・トレーニング等）が行われているか	10	0	1	2	ペアレントトレーニング ではないが、療育の様子 を伝える際に、簡単なア ドバイスやお家でもでき る遊び等を提案させてい ただいています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解ができ ているか	13	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関す る助言等の支援が行われているか	11	1	1	0	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されてい るか	1	2	8	2	ご要望に応じて、同じお 悩みを抱える保護者の方 同士が繋がること出来 るよう努めていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、子どもや 保護者に周知・説明され、相談や申入れをした 際に迅速かつ適切に対応されているか	11	2	0	0	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮がなされているか	11	2	0	0	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する 自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されているか	9	3	1	0	チラシやライン、SNS にて イベントや活動の様子を 発信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	1	個人情報は鍵付きのロッ カーに保管し、外部機関 との連携の際も必要最低 限の情報にとどめる等の 対応をしております。
	非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説 明されているか。また、発生を想定した訓練が実 施されているか	12	0	0	1
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	0	5	毎月テーマに沿った避難 訓練を実施している。 また、非常用の水・食糧 の備蓄もあります。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0	私たちも楽しみに子ども たちが来てくれるのを待 っています！
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。